

梅雨の季節、家庭での
食中毒に注意しましょう！

食中毒予防の 6つのポイント

Point!

1 食品の購入

- 消費期限・保存方法などの表示は必ず確認しましょう。
- 肉や魚などは、水分がもれないようにそれぞれ分けて包みましょう。できれば保冷剤（氷）などと一緒に包みましょう！
- 冷蔵や冷凍が必要な食品を購入した場合は、寄り道をせずまっすぐ帰りましょう。



Point!

3 下準備

- タオルやふきんは清潔にして、こまめに手を洗しましょう。
- 冷凍食品の解凍は冷蔵庫で行いましょう。
- 包丁や器具、ふきんは洗って消毒しましょう。
- 肉や魚を切った包丁は洗って熱湯をかけておきましょう。
- 肉や魚は生で食べるものから離して、野菜もよく洗いましょう。



Point!

5 食事

- 食事の前に手を洗いましょう。
- 盛り付けは清潔な器具、食器を使いましょう。
- 長時間室温に放置しないようにしましょう。



毎日食べる家庭の食事にも食中毒の危険がたくさん潜んでいます。食中毒を予防する6つのポイントをご紹介します。一人ひとりが衛生管理に気をつけて食中毒のない楽しい食事を楽しみましょう！



Point!

2 家庭での保存

- 帰ったらすぐ冷蔵庫へ入れましょう。
- 冷蔵庫や冷凍庫への詰めすぎに注意！目安は7割程度です。
- 冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫は-15℃以下を維持しましょう。
- 肉や魚は汁がもれないように包んで保存しましょう。



Point!

4 調理

- 台所は清潔にして、作業前に手を洗いましょう。
- 加熱が必要なものは十分に火を通しましょう。（目安は中心部の温度が75℃で1分間以上）
- 電子レンジを使うときは均一に加熱されるようにしましょう。
- 調理を途中で止めたら食品は冷蔵庫へ入れましょう。



Point!

6 残った食品

- 残った食品を扱う前にも手を洗いましょう。
- 清潔な器具、容器で保存しましょう。（早く冷えるよう、小分けに）
- 温めなおすときは十分に加熱しましょう。（目安は75℃以上）
- 時間が経ちすぎたり少しでも怪しいと思ったら思い切って捨てましょう。



おくのほそ道 つるが芭蕉紀行 全国俳句大会 9月21日(日)開催

元禄2年(1689)松尾芭蕉は、「おくのほそ道」の旅路の中で仲秋の名月を眺めることを望んで、敦賀を訪れました。敦賀は「おくのほそ道」のクライマックスを飾り、「芭蕉杖描きの地」とも言われています。

芭蕉が敦賀で観ることを願った仲秋の名月の時期に合わせて、「おくのほそ道」つるが芭蕉紀行全国俳句大会を開催します。現在、事前投句作品を募集しており、応募作品は全て投句集に掲載され、優秀作品は大会当日に表彰します。

市内に残る芭蕉の杖跡をたどり、名月に思いを巡らせながら、俳句を詠んでみませんか？

事前投句募集中！

- テーマ 「当季雑詠」
- 募集期間 5月20日(火)～7月10日(日)
- 応募方法 公民館・文化振興課等にある所定の投句用紙に投句料を添えて応募
- 投句料 2句1組 1,000円(何組でも可)
(現金または郵便小為替)
- 応募先 〒914-8501
敦賀市中央町2丁目1-1
敦賀市教育委員会事務局文化振興課

全国俳句大会のお知らせ

- ところ きらめきみなと館
- 吟行会 受付 9時15分～
吟行 10時～
吟行地 氣比神宮・西福寺
投句料 2句1組 1,000円(1人1組のみ)
当日受付でお支払いください。
- 定員 120人
定員に達し次第締め切ります。
- 記念講演 14時～15時
演題 「旅の思い出 一種の浜、芭蕉の貝拾い」
講師 日本伝統俳句協会常務理事 井上泰至氏
- 俳句大会 15時10分～17時
吟行句および事前投句された作品の表彰や講評

吟行地へはバスで移動します！



文化振興課 井高学芸員



敦賀市公認キャラクター
バショさん



氣比神宮

芭蕉は、悪天候のため観ることができなかった敦賀での名月を「名月や北国日和定なき」と詠み、「おくのほそ道」に採録しました。



西福寺

「おくのほそ道」の旅路の大半を芭蕉とともに過ごした門弟の河合曾良は、芭蕉に先じて敦賀に入り、西福寺を訪れました。



種の浜(色浜)

種の浜(「おくのほそ道」での表記)にわたった芭蕉は、「寂しさや須磨にかちたる浜の秋」などいくつもの句を残しました。

問合せ先 文化振興課 ☎22-8152